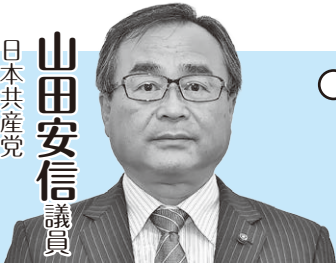


山田安信 議員  
日本共産党



## ○ 中学校を勝山高校の敷地内に建設する計画の問題点と対応について

その他の質問

・参議院選挙の争点と、地方自治体への影響について

**議** ①中学校を勝山の敷地に建設する「ねらい」の特徴は「勝高を存続させる」ことだが、油谷教育長も同じ認識か。

②義務教育全ての中学校にとって「高校との同居型連携」がどうしても必要な教育環境なのか。

③県教委は小規模高校の存続を決めたが、その条件は「中学校との同居型連携」なのか。

④前教育長は、遠距離通学が小学校では人口流出の要因になるが、中学校では問題ないと答弁したが、油谷教育長も同じ考えか。

⑤小中高の先生とPTA代表などで構成する準備会が「勝高敷地内に建設することの是非の判断」ができるのか。準備委員に「住民の合意を得る」ことを担わせるのは無茶ではないか。

⑥中学校の統廃合は地域によって意見が違つことも起りうる。地域同意が得られない中学校区の意見を無視して強行するののか。

**理** ①中学校の統合にあつて、地元の勝山高校と連携した教育を進めることが、中学生に求められる資質能力の育成など大きな教育効果を得ら

れると考えている。中高連携の効果として勝山高校への進学率が向上することは期待できるが、これを最優先事項とは考えていない。

②中学校の設置や地元高校との連携のあり方は、各地域の様々な実態を踏まえて判断されるものと考えている。

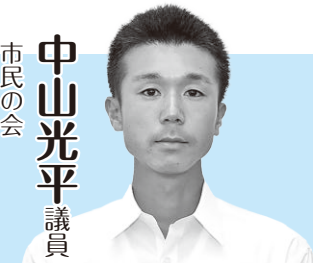
③ご指摘のことを条件とはしていない。

④中高連携によって入学して学びたいと考えてもらえるよう魅力的なカリキュラムなど編成し、ご理解いただけるよう努めたい。

⑤再編準備委員会設置は条例等議会で認めていただいた。保護者代表からは事前に聞いてきた保護者の意見が述べられ、持ち帰つて役員会などで意見を聞きたいなどの発言があつた。当委員会での協議結果は市議会や市民にお示しし、判断いただきたい。

⑥再編準備委員会や専門部会では、様々な課題を踏まえて協議を進めている。新中学校の教育内容や教育環境等について、校区別の説明会等で説明し、意見を伺つとともに計画の推進にご理解いただけるよう努めていきたい。

中山光平 議員  
市民の会



## ○ 新型コロナ対応についての確認と指摘

その他の質問

・勝山市立中学校再編計画について

**議** ①厚労省HP、新型コロナナウシルス感染症対策アドバイザリーボードの「ワクチン接種歴別の新規陽性者数」では、ワクチン接種歴「未記入者」数を「未接種者」数に加算し、本来はほとんどの年代で低い感染率の未接種者が高い感染率に見せていた件（専門家からの指摘を受けて5月11日以降は未記入者を接種歴不明に再分類された）

②厚労省が作成したパンフレット「新型コロナワクチン接種後の心筋炎、心膜炎について」に記載されている文言と数字が間違つていて、あたかもワクチン接種者の方が心筋炎、心膜炎のリスクが低いようにみせていた比較グラフの件。（現在もHP等で全国的に使用されている）

③新型コロナワクチン添付文書が改訂されても周知されない件。

④③は、市民が自身の安心安全を守るために必要な判断材料であるが、市はどのように考えるか。

**理** 国の新型コロナナウシルス感染症対策アドバイザリーボードについては、厚生労働省が作成、公表している資料

であり、その内容について市で答えることはできない。

また、接種券送付時に国が示した「新型コロナ予防接種についての説明書」を送付し、若い方、特に男性に心筋炎や心膜炎が起ることがあることを周知している。説明書には、ワクチンの効果と投与方法、注意点、副反応等について記載しており、それ以上の詳細な内容は、厚生労働省のホームページをご覧いただくよう案内している。添付文書の改訂についても詳細な内容と思われる。ホームページでご確認いただきたい。

ワクチン接種には様々な意見や情報があるが、市民が安心して接種できるよう市として情報提供していく。

**議** 私は「厚労省HPの情報に改ざんや間違いがあつたことが発覚している。」と指摘している。また、「各HPを確認してほしい」というが、高齢化等のこともあり、苦手な方が多いことは認識しているはず。だからこそ、紙面での情報周知が重要であると再三指摘している。小さい市だからこそ市民に寄り添える市政であってほしい。